記者発表資料

平成２８年　６月１０日
東北地方整備局
岩手河川国道事務所

雨の現象や 防災のポイントを わかりやすく紹介



ゲリラ豪雨展を 開催します



６月１７日(金) ～ ７月２７日(水)

「ゲリラ豪雨？」「１時間に３０ミリの雨？」。
聞いたことはあるけど上手く説明できない雨の現象や防災のポイントについて、イラスト、映像、音、体験コーナーなどで、子供から大人まで、わかりやすく紹介します。

この機会に、雨の大変さや怖さを改めて認識し、危険を察知するために大切なことは何なのか、みんなで一緒に考えてみましょう。

この企画展は、日本全国で巡回展示を行っています。
「あいぽーと」では昨年６月に展示し、好評だったことから、梅雨の時期に合わせ、再度の展示を行うこととなりました。

【開催場所】　北上川学習交流館　あいぽーと（岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬１５５－８１）
【開催期間】　平成２８年　６月１７日(金) ～ 平成２８年　７月２７日(水)
【開館時間】　９時００分～１７時００分
【 休館日 】　毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
【 入場料 】　無 料
【展示内容】

■**ストーリー展示**：「ゲリラ豪雨の発生から収束まで」を、学校帰りの小学生の行動をたどりながら紹介する、絵本のような展示です（イラスト、音）。
■**解説パネル展示**：「雨の降る仕組み」、「ゲリラ豪雨と集中豪雨の違い」、「身を守るためのポイント」ほか（イラスト、写真）
■**映像展示**：「増水の体験談」のインタビュー、川の水が急に増水する、マンホールが飛び出すなどの「ゲリラ豪雨の影響」、「雨つぶのかたち」
■**音展示**：聴き雨展示
■**体験コーナー**：雨の重さの体験展示、雲発生実験「雲をつくってみよう」

≪発表記者会：東北専門記者会、岩手県政記者クラブ、一関市政記者クラブ≫

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　岩手河川国道事務所
〒020-0066　岩手県盛岡市上田４丁目２－２
副所長（河川担当）　三浦（みうら）　義昭（よしあき）（内線 204）
調査第一課長　岩沢（いわさわ）　博章（ひろあき）（内線 351）
調査第一課直通ＴＥＬ：０１９－６２４－３１６６

「ゲリラ豪雨展」の展示ユニットについて

■　「ゲリラ豪雨展」の展示ユニットは、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」によって企画・開発されました。

「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」は、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館で巡回展示しています。巡回展示の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動している団体です。

■展示の様子（写真は、昨年６月に「あいぽーと」で展示したときのものです。）



①**ストーリー展示**：「ゲリラ豪雨の発生から収束まで」を、学校帰りの小学生の行動をたどりながら紹介する、絵本のような展示です。

②**映像展示**：「増水の体験談」のインタビュー、川の水が急に増水する、マンホールが飛び出すなどの「ゲリラ豪雨の影響」などを映像で紹介します。

③**聴き雨展示**：実際の豪雨や落雷の状況を臨場感あふれるサウンドで体感できます。

④**雨の重さの体験展示**：たたみ一畳に３０㎜の雨が降ると、どれだけの重さになるかを、ペットボトルの水を動かして実感。







北上川学習交流館「あいぽーと」（国土交通省 一関防災センター）について

■　「あいぽーと」は、北上川の風土と民俗、歴史と文化、災害と治水などの種々の情報を広く発信し、学習体験や流域内の交流を図るための総合情報拠点※1であるとともに、災害時における防災活動拠点※2となる施設です。

施設は、１階に展示室、学習スペース、２階に一関遊水地集中管理センター、３階に展望室などを有しています。



※１　総合情報拠点として

展示室（１階）には、北上川流域や災害などのパネル展示、北上川流域全体の航空写真（20m×6m）、治水に関する模型、北上川に関する図書などがあります。展示室、展望室（３階）は、自由に見学することができます。

また、学校関係団体や一般団体の館内見学、学習の受付を随時行っています。学習内容は、過去の水害、北上川の特徴、一関遊水地、防災センターの役割、館内施設見学などです。

※２　防災活動拠点として

災害時は、防災センターとして、状況把握と復旧対応を行う拠点となります。

平成 20 年 6 月の岩手・宮城内陸地震、平成 23 年 3 月の東日本大震災では、国土交通省の現地対策本部が設置され、テックフォースの派遣及び災害復旧の拠点などとして機能しました。



ゲリラ豪雨展

巡回企画展「ゲリラ豪雨に備えて」









「ゲリラ豪雨」って何だろう？
その仕組みと恐ろしさを体感して、
危険から身を守ろう！



【開催館】北上川学習交流館 あいぽーと
【開催期間】平成28年6月17日(金)～7月27日(水)
【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)　【開館時間】9:00～17:00

【主催】国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所
【共催】一般社団法人 東北地域づくり協会
【企画制作】水の巡回展ネットワーク　【協力】NPO法人気象キャスターネットワーク、ファンザミューズ
東京学芸大学環境教育研究センター、東京学芸大学グラフィックデザイン研究室、
日本河川・流域再生ネットワーク、九州産業大学 芸術学部メディアラボ331

【展示内容】ストーリー展示(ゲリラ豪雨発生から収束)、
解説パネル展示、河川の増水等の映像展示、
聞き雨展示、雨の重さの体験展示、等。



国土交通省　jawanet japan water exhibition network

Our Life, with River 河川整備基金

公益財団法人河川財団の
河川整備基金の助成を受けて制作しました



ゲリラ豪雨展

巡回企画展「ゲリラ豪雨に備えて」

■ 巡回企画展「ゲリラ豪雨に備えて」

「ゲリラ豪雨？」「１時間に３０ミリの雨？」。聞いたことはあるけど上手く説明できない雨の現象や防災のポイントについて、わかりやすく紹介します。

水は私たちの生活にとって欠かせないものですが、私たちの生活に大きな影響を及ぼすこともあります。ゲリラ豪雨による河川の急な増水によって、多くの人の命が失われたことは、みなさんの記憶にも新しいことでしょう。

この企画展では、「ゲリラ豪雨の発生から収束」を学校帰りの小学生の行動をたどるストーリーで、また「雨の降る仕組み」や「ゲリラ豪雨と集中豪雨の違い」、「身を守るためのポイント」を図解でわかりやすく展示しています。他にも映像でみる「ゲリラ豪雨の影響」や「雨つぶのかたち」、「降った雨の重さ」を体感できるコーナーなどもあります。

雨の大変さや怖さをあらためて認識し、危険を察知するために大切なことは何なのか、みんなで一緒に考えてみましょう。



床上浸水って大変

ポンプで水を出そう！

ゲリラ豪雨による床上浸水を映像で仮想体験。
豪雨の対策とともに、浸水の大変さを体験的に学びます。
手押しポンプを動かしながら、リビングに溜まった
水を汲上げて急いで外に出そう！

■この展示の企画制作：この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。

jawanet
japan water exhibition network



北上川学習交流館 あいぽーと

【開館時間】9：00～17：00
【休館日】毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
【入場料】無料
【交通】東大橋近くの狐禅寺バス停から歩いて約10分
JR一関駅からクルマで約10分
JR山目駅からクルマで約10分
東北自動車道一関I.Cからクルマで約15分
【住所】〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬155-81
【電話】0191-26-0077